

# 2023年度(上期) 鳴尾浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2023年4月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1 各部署単位での安全衛生日誌運用 2 手順書作成と更新(重点 搬送異常・シュート口) 3 5S活動推進 4 リスクアセスメント推進 5 改修工事(酒類レイアウト変更)に伴う安全対策
事業部方針	鳴尾浜事業部は、安全最優先を念頭においた職場環境づくり、及び、不安全状態を見逃さない組織風土を構築し、全社員の命と健康を守るために、労使が一体となった安全衛生活動に取り組みます。		
事業所方針	方針「全社員の健康保持増進と快適な職場環境の形成を促進します」 ①すべての行動は「安全第一」(作業者の安全確認・動力車の安全走行) ②職場の整理・整頓・清掃の実践 ③「正しい手洗い」の励行 ④コロナ対策 ※継続課題「正しい5S活動」「環境・省エネ」「あいさつ推進運動」	年間目標	1 各部署単位での安全衛生日誌を定着させる 2 労働災害防止を重視した手順書に拡大させる 3 5S活動を見える化する。 4 全員が参加するリスクアセスメントを実施する 5 労働災害 年間 2件以内(鳴尾浜事業部全体) 6 動力車事故 年間 2件以内
前年度の活動の評価と見直し	1 安全衛生日誌の不備を指摘される。各部署単位での安全衛生日誌を作成する 2 手順書に安全ポイントの追記だけでは労災事故防止に不十分な部分がある。全工程の手順書に改善の余地があるが、優先順位の高い工程より改善を行う 3 5S活動の形骸化がみられた。5S活動の見える化を進める 4 責任者によるリスクアセスメント研究を行った。全員参加のヒヤリハット収集やKY活動からリスクアセスメントに繋げる	前年度のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	1 コンベアでの労働災害防止対策の検証

備考: ○・・・取組実施月   ・・・取組期間      備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×・・・75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
安全衛生教育の実施	1 安全管理者ステージアップ講座	・1人以上参加	・マネジャー									
	2 安全管理者研修	・1人以上参加	・マネジャー									
	3 職長等教育	・1人以上参加	・マネジャー									
	4 FL作業指揮者	・1人以上参加	・マネジャー									
各部署別安全衛生日誌の作成	1 作業指示書の運用(週次)	・日々の指示内容と連携させる	・リーダー会									
	2 5S活動の見える化	・日常清掃・定期清掃の実施記録	・リーダー会									
	3 職場巡回(週1回、毎日)	・安全衛生課題抽出と記録	・リーダー会									
	4 KY活動の見える化	・KY活動の記録と定着	・リーダー会									
取組項目 職場自主活動の推進	1 5S活動推進	・日常清掃と定期清掃	・リーダー会									
	2 ヒヤリハット事例の抽出	・各工程1事例以上抽出	・リーダー会									
	3 KY活動	・毎月1回以上実施	・リーダー会									
	4 リスクアセスメント実施	・半年毎に一回実施	・リーダー会							○		
	5 挨拶運動	・職場巡回(週1回)時に実施	・リーダー会									
職場環境の維持	1 産業医職場巡回	・法定巡回	・部長		○		○		○			
	2 環境測定(騒音・照度)	・数値による見える化	・リーダー会		○							
	3 通路の確保	・通路の再設定	・リーダー会	準備								
手順書更新	1 搬送異常	・労働災害防止と品質保証	・リーダー会	骨子作成	項目ごとに協議・決定			点検	完成			
	2 シュート口	・労働災害防止と品質保証	・リーダー会	(搬送異常終了後)								
安全衛生自己診断評価	1 全項目							○				

# 2023年度(上期) 魚崎浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2023年4月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1. 行動力はあるが計画を達成させる実行力がない 2. 周知・徹底が不十分(ルールや取組が浸透していない) 3. 慢性的な長時間労働 4. 整理整頓の継続
事業部方針	社員の安全と健康を守るため、ルールを守る組織風土および安全安心で明るく活気ある職場環境を目指します。一人一人の安全の積み重ねによって、全員で「労働安全魚崎浜モデル」の構築をすすめます。		
事業所方針	魚崎浜事業部は、社員の命と安全と健康を守るため、全従業員協力のもと職場風土を改善し、安全・快適な職場環境づくりを推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>重篤災害の撲滅</li> <li>職場ルールの遵守</li> <li>一人一人の安全意識の向上</li> <li>長時間労働の組織的改善</li> </ul>	年間目標	1. 労働安全衛生マネジメントシステムの運用 2. 動力車の指差し呼称の実施 3. 転倒による重篤労働災害発生件数前年比50% 4. 危険予知(活動・トレーニング)を定着させ、安全作業KYサイクルの活用
前年度の活動の評価と見直し	1. 動力車の指差し呼称は、再教育を実施。改めて運用方法と実施方法を確認し定着に向かっている 2. 安全衛生の目標に対する行動力はあるが、完結させる実行力が乏しい 3. 積雪の影響による労働災害はなかったが、災害級の積雪時には初動で注意喚起を発信 4. 職場風土の改善は、清掃への意識付けがメンバーに定着	前年度のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	1. 機械安全の教育と措置 機械装置の作業前点検の方法を明記し、実施する 2. 危険予知(活動・トレーニング)による「リスクの見積り」を把握 日々の危険予知活動の対象として安全を確保する 3. 送迎バスの無人走行対策の形骸化をさせない 降車手順の徹底

備考: ○・・・取組実施月    ●・・・取組期間    →    備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
無人走行の再発防止	1 降車手順の徹底	ルール遵守の継続	管理マネジャー	→	→	→	→	→	→			
	2 他社を含めた無人走行事例の共有	形骸化の抑制	チーフ	→	→	→	→	→	→			
重大労働災害の抑制	1 安全衛生点検の実施	週1回の巡回	各マネジャー	→	→	→	→	→	→			
	2 ルールの形骸化を抑制	ルールの継続	安全担当	→	→	→	→	→	→			
安全対策の形骸化防止	1 安全対策実施後の点検	形骸化の抑制	マネジャー	○								
	2 老朽化のメンテナンス	安全対策の保全	安全担当	○								
作業手順書の構築	1 定期的な見直しを進める	役割分担を決め実施	チーフ	○								
	2 非定常作業の記録	作業手順を記録	安全担当L			○	→					
	3 雇入れ教育の実施	雇入れ教育方法の見直し	安全担当L		○							
5S活動の推進	1 車内・庫内清掃の定着	全員で実施	チーフ	→	→	→	→	→	→			
	2 備品の定位置管理	全員で実施	リーダー	→	→	→	→	→	→			
	3 不要物の廃棄	全員で実施	ライン長	→	→	→	→	→	→			
職場巡視の実施	1 経営者による巡回の実施	月1回の巡回	チーフ	○	○	○	○	○	○			
	2 他部署を招いた巡回の開催	意見交換会の実施	リーダー		○		○		○			
安全運行	1 喫煙、携帯電話、シートベルト、法定速度の点検	DRの点検	チーフ				○	○				
	2 荷役作業時の労働災害の共有	転倒・転落事故の防止	マネジャー			○						
危険予知(活動・トレーニング)	1 危険ポイントの特定	安全衛生点検から	安全担当L	○								
	2 危険箇所を見える化しリスクの低減	危険箇所マップの作製	安全担当L		○							
	3 安全作業KYサイクルの実践	各種KY手法のプログラムを管理	管理マネジャー			○						
リスクアセスメント会議の実施	1 リスクアセスメントの定義フォーマットの統一化	リスクアセスメント会議が実施され、会社方針との整合ができています	総合品質管理部	→	→	→	→	→	→			
	2 会社発信との横軸展開(会議の開催)		安全担当L	→	→	→	→	→	→			
	3 危険性又は有害性の特定		ライン長	→	→	→	→	→	→			



# 2023年度(上期) トータルサポート事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2023年4月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	【安全衛生診断評価】より優先順位抜粋(確認項目) ① 安全管理者・衛生管理者の巡視の完全実施 ② 安全衛生委員会において社員に最新情報が発信できていないことがあった。 ③ 5S活動の計画と実施が不十分 ④ 動力車「指差呼称」実施が根付いておらず徹底できていない
事業部方針	社員が心身ともに健康的に就業できる職場とすることを第一に考え、法令遵守、及び、職場ルールを全社員が理解把握し、遵守する職場風土を根付かせ、安全安心な職場構築を目指します。		
事業所方針	安全衛生部会を中心に安全環境の改善整備をおこない、決められたルールを社員一人ひとりが把握理解をおこない、安全に対して意識を向上させる。安全衛生記録等をしっかりと残し、安全への探求を行います。	年間目標	【取り組み数値目標】 労働災害年間・・・1件以内 通勤災害・・・2件以内 安全衛生診断評価2.8ポイント→3.5ポイントへ上昇 安全衛生委員会100%実施
上期の活動の評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>22年度は安全衛生部会を中心に一定の課題抽出と絞り込みを行ったが、取り組み不足は否めない。</li> <li>今後、各担当者は今以上に当事者意識を高め、目標達成にむけ、よりスピード感をもった取り組みが必要。</li> <li>健康経営(品質管理)による健康推進は飛躍的に進捗している。安全衛生管理組織編成による共有、発信の場は定着(継続中)。</li> <li>TS事業部でのリスクアセスメントの開始は行えたが、目指すべき成果には程遠いため推進の強化が必要。</li> <li>取り組み活動内容①動力車運転時、指差呼称の徹底不足(継続中)</li> <li>記録物、資料掲示については改善したが、コンプライアンス遵守、職場改善への意識向上は不十分であり次年度の課題。</li> </ul>	2022年度下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全衛生部会内にて勉強会実施</li> <li>各部署内にて課題の抽出(安全衛生部会)</li> <li>一部品質管理との連携により改善をおこなった。(印刷・リサイクル作業場で構内放送が聞こえにくい状態であったがスピーカーの設置にて改善)</li> <li>嵩高重量物は2マンでの積み付けを行うよう指導(腰痛防止)</li> <li>2023年度上期より全社員参画型のリスクアセスメント活動予定</li> </ul>

備考: ○・・・取組実施月    ●・・・取組期間    →    備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
安全な作業マニュアルの再構築	1 労災リスクの高い作業選定	作業マニュアルに安全ポイントが明記され、職場で都度確認ができてい	各現場		○		点検					
	2 作業マニュアルに安全ポイントを追記、徹底		各現場			○		○				
リスクアセスメント会議の実施	1 リスクアセスメントの定義フォーマットの統一化	リスクアセスメント会議が実施され、会社方針との整合ができてい	総合品質管理部	→								
	2 会社発信との横軸展開(会議の開催)		安全管理	→								
	3 TS課題の抽出		各現場	→								
継続した5S活動の推進	1 「整理」「整頓」の定着化	5S計画にのって活動ができており、実施内容等の報告記録ができてい	各現場	→								
	2 社員手帳による社内共有化		安全管理	→								
	3 所属安全衛生委員会での取り組み報告		各現場	○	○	○	○	○	○			
職場巡視	1 安全衛生管理者による実施	週一度巡視の徹底による安全管理	マネージャー	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回			
	2 記録の作成及び管理保管	記録フォーマットの実施と保管	マネージャー	→								
	3 巡視課題項目の充実	課題の改善(都度)	安全管理	都度	都度	都度	都度	都度	都度			
動力車の安全行動	1 法令遵守(ヘルメット着用、運行前点検)	全リフトマン100%実施	オペレーター	→								
	2 発進時の呼称(声掛け)	全リフトマン実施(後退時100%実施)	オペレーター	→								
	3 見通しの悪い箇所での一旦停止	通行帯交差、見通しの悪い箇所実施	オペレーター	→								
	4 実施状況確認	月一度現場にて実施状況点検	マネージャー	○	○	○	○	○	○			
構内危険箇所作業の見直し	1 危険作業等の見直し	優先順位を絞り、都度着手	安全管理	→								
	2 作業資格の保有	作業者の特定、講習受講を実施	安全管理	→								
	3 作業場の改善と補修	改修工事業者の選定と工事	安全管理	→								